

科目名	国語 Japanese			担当教員	坂本 具償		
学 年	3 年	学 期	通年	科目番号	09101	単位数	2
分 野	一般	授業形式	講義	履修条件	必履修		
学習目標	1. 現代文の読解を通して、他人の物の見方や考え方を知る。 2. 日本語の表現演習を通して、勉学や社会生活における必要最低限の日本語表現力を身につける。 3. 漢字検定準2級合格程度の漢字力を習得する。						
進め方	講義形式を基本とする。予習・復習に努めてほしい。適宜、演習の時間を設けたり、発表したりしてもらうこともある。また、年間 20 回漢字小テストを実施する。						
学習内容	学習項目（時間数）			合格判定水準			
	※全体のガイダンス(1) 1. 評論 (4) (1)コミュニケーションとしきり(柏木博) 2. 小説 (9) (1)美神(三島由紀夫)			・引用や具体例の役割を捉えることができる。また、構成を捉え、論旨をまとめることができる。（「コミュニケーションとしきり」） ・三島由紀夫の文学史上の位置を理解することができる。 ・小説の構成、登場人物の性格を表現に即して読み取ることができる。また、様々な視点からこの小説のテーマを導き出すことができる。（「美神」）			
	----- [前期中間試験](2)						
	※試験の解説(1) 3. 評論(7) (1)「である」ことと「すること」(丸山真男) 4. 表現(4) (ア)議論文を書く (イ)手紙文を書く 5. 詩 (2) (1)「小諸なる古城のほとり」(島崎藤村)			・段落ごとに、内容を簡潔にまとめることができる。また筆者の主張に対して自分の意見を述べることができる。（「である」ことと「すること」） ・短く簡単な議論文が書ける。 ・手紙文の一般的な型をもとにして簡潔なお礼状や挨拶状が書ける。 ・詩のリズムや表現方法を知り、想像力をとおして、表現された心情が理解できる。（「小諸なる古城のほとり」） ・			
	前期末試験(2)						
	※試験の解説(1) ※6. 中国の思想（漢文）(13) (1)『論語』『孟子』 (2)『老子』『莊子』			・返り点に注意して漢文を書き下すことができる。 ・解釈に基づいて、各節の主張をまとめることができる。『論語』『孟子』『老子』『莊子』 ・各節の主張に対する自分の考えをまとめることができる。			
	----- [後期中間試験](2)						
	※試験の解説(1) 7. 小説(13) (1)こころ（夏目漱石）			・主人公「私」の心理の変化を順に整理して捉えることができる。また「K」がなぜ自殺したかについて、自分なりに意見が言える。（「こころ」）			
後期末試験(2)							
評価方法	1. 評価の内訳：漢字小テストを 10%、提出物を 15%、定期試験を 75%とする。 2. 評点：学習内容の 1～2、3～5、6、7 をそれぞれ 25%、25%、25%、25%としてつける。 3. 授業に対する取り組みが悪い者については減点することがある。						
学習・教育目標との関係	学校の学習・教育目標 (A)「倫理」、及び、(D)「コミュニケーション能力」に対応する。						
関連科目	国語（1年）→ 国語（2年）→ 国語（3年）→ 文学（4年）→ 古典文学（専攻科2年）						
教材	教科書：新版現代文 教育出版 井口時男他 及びプリント 漢 字：級別漢字学習 4 級～2 級 東京法令出版 赤羽靖他 表 現：基礎からの国語表現の実践 京都書房 樺島忠夫・佐竹秀雄共著 辞 書：電子辞書（国語辞典 古語辞典 漢和辞典）						
備考	特になし						